

令和8年度 学習計画(シラバス)

教科	科目	対象学年 コース	単位数	担当者氏名	教科書 著者 発行所	使用教材・発行所						
保健体育	体育	2年	2	坂本勝 駒方 公紀 杉本一文 谷内 功二 栗村 一貴	現代高等保健体育 衛藤隆 友添秀則 ほか・26名 大修館書店							
指導の重点 1. 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 2. 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 3. 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。												
評価の観点 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">知識・技能</td> <td>体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識と、運動の実践や生涯スポーツにつながる概念や法則などの汎用的な知識を身に付けている。 運動を通して、各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを深く味わうことができる。</td> </tr> <tr> <td>思考・判断・表現</td> <td>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</td> </tr> <tr> <td>主体的に学習に取り組む態度</td> <td>各種運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとしたり一人一人の違いに応じた動きを大切にしようとする。</td> </tr> </table>							知識・技能	体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識と、運動の実践や生涯スポーツにつながる概念や法則などの汎用的な知識を身に付けている。 運動を通して、各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを深く味わうことができる。	思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	主体的に学習に取り組む態度	各種運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとしたり一人一人の違いに応じた動きを大切にしようとする。
知識・技能	体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識と、運動の実践や生涯スポーツにつながる概念や法則などの汎用的な知識を身に付けている。 運動を通して、各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを深く味わうことができる。											
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。											
主体的に学習に取り組む態度	各種運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとしたり一人一人の違いに応じた動きを大切にしようとする。											
学習の評価 1. 各学期末(2学期は中間考査前と学期末)において実技テストを行い、「知識・技能」を評価する。 2. 授業後に提出する自己評価表などを用いて、振り返りや次回の課題、計画を行っているかを判断し、「思考・判断・表現」を評価する。 3. 班別活動及びグループワークを通じて、課題解決に向けた話し合いに貢献しているかを判断し「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 4. 活動中における安全面への気づき・配慮が積極的に行われているかを確認し、「思考・判断」を評価する。												
学期	月	考査	単元	学習内容	学習の目標(評価)							
1	4	期末	体づくり運動	集団行動 体づくり運動 陸上競技 新体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・手軽な運動や律動的な運動を行うことにより、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。また自分や仲間の体や心の状態に気づいたり、体の調子を整えたりするとともに、精神的ストレス解消に役立てたり、仲間と豊かに係わることの楽しさを体験したりする。 ・体力や運動能力の現状を確認し、不足している能力と高めるための課題を見つける。 							
			陸上競技	体づくり運動 陸上競技 リレー 長距離走	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを深く味わい、陸上競技の学習に主体的に取り組むことができる。 ・短距離・リレーでは、中間走の高いスピードを維持して速く走ること、長距離走では、ペースの変化に対応するなどして走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低くリズムカルに越すことができる。 							
			ダンス 陸上競技	体づくり運動 おわら 陸上競技 リレー ハードル	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした郷土芸能「おわら」を理解し、郷土愛を育むとともに、体育大会で発表できるようにする。 ・地域の交流、融合を促進する。 ・おわら検定を通して、自己の技術の向上や、仲間との学び合いによる交流を図る。 							
	7	期末	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・手軽な運動や律動的な運動を行うことにより、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。また、自分や仲間の体や心の状態に気づいたり、体の調子を整えたりするとともに、精神的ストレス解消に役立てたり、仲間と豊かに係わることの楽しさを体験する。 ・体力や運動能力の現状を確認し、不足している能力と高めるための課題を見つける。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。 							
	9	中間	球技	バレーボール ソフトボール サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・種目の特性を理解し、種目に親しむ中で個人の能力を把握する。 ・個人や集団の技能を高め、自己の役割を理解して互いに協力して練習やゲームが出来るようにする。 ・個人の能力に応じて、相手の動きに対応した攻防を展開してゲームを楽しめる。 ・表現したい内容・種目の特性を理解し、種目に親しむ中で個人の能力を把握する。 							
			球技	バレーボール ソフトボール サッカー テニス ダンス・器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・種目の特性を理解し、種目に親しむ中で個人の能力を把握する。 ・個人や集団の技能を高め、自己の役割を理解して互いに協力して練習やゲームが出来るようにする。 ・個人の能力に応じて、相手の動きに対応した攻防を展開してゲームを楽しめる。 ・表現したい内容・種目の特性を理解し、種目に親しむ中で個人の能力を把握する。 							
			球技	テニス ソフトボール ダンス・器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・種目の特性を理解し、種目に親しむ中で個人の能力を把握する。 ・個人や集団の技能を高め、自己の役割を理解して互いに協力して練習やゲームが出来るようにする。 ・個人の能力に応じて、相手の動きに対応した攻防を展開してゲームを楽しめる。 ・表現したい内容・種目の特性を理解し、種目に親しむ中で個人の能力を把握する。 							
12	期末	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・手軽な運動や律動的な運動を行うことにより、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。また自分や仲間の体や心の状態に気づいたり、体の調子を整えたりするとともに、精神的ストレス解消に役立てたり、仲間と豊かに係わることの楽しさを体験したりする。 ・体力や運動能力の現状を確認し、不足している能力と高めるための課題を見つける。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。 								
3	1	学 年 末	球技	バスケットボール バドミントン 卓球	<ul style="list-style-type: none"> ・種目の特性を理解し、種目に親しむ中で個人の能力を把握する。 ・個人や集団の技能を高め、自己の役割を理解して互いに協力して練習やゲームが出来るようにする。 ・個人の能力に応じて、相手の動きに対応した攻防を展開してゲームを楽しめる。 ・表現したい内容・種目の特性を理解し、種目に親しむ中で個人の能力を把握する。 							
			球技	バスケットボール バドミントン 卓球	<ul style="list-style-type: none"> ・種目の特性を理解し、種目に親しむ中で個人の能力を把握する。 ・個人や集団の技能を高め、自己の役割を理解して互いに協力して練習やゲームが出来るようにする。 ・個人の能力に応じて、相手の動きに対応した攻防を展開してゲームを楽しめる。 ・表現したい内容・種目の特性を理解し、種目に親しむ中で個人の能力を把握する。 							
	3	学 年 末	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・手軽な運動や律動的な運動を行うことにより、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。また自分や仲間の体や心の状態に気づいたり、体の調子を整えたりするとともに、精神的ストレス解消に役立てたり、仲間と豊かに係わることの楽しさを体験したりする。 ・体力や運動能力の現状を確認し、不足している能力と高めるための課題を見つける。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。 							